

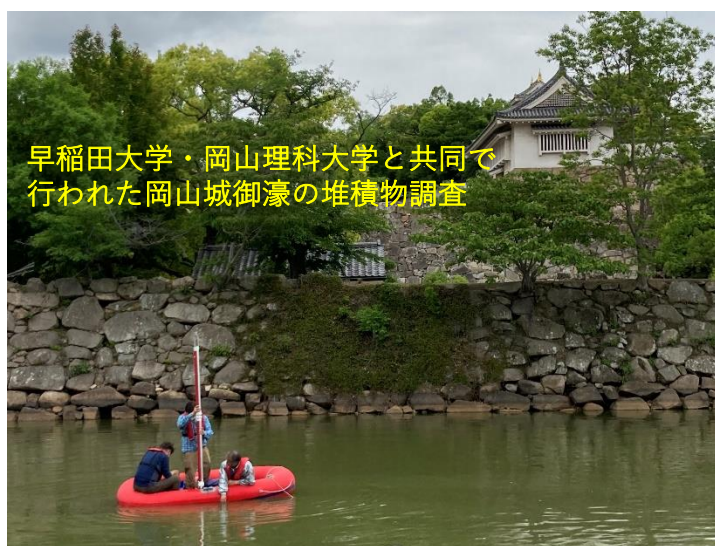


堆積物を用いて過去の地球環境や地域環境の変遷を探る

エスチュアリー研究センター 特任教授 齋藤文紀、准教授 瀬戸浩二、講師 香月興太

現在の環境を評価し、また将来の環境を予測するためには、過去からの延長として、現在や将来を捉えることが大切です。百年先を見通すためには、百年以上の歴史をまず知っておく必要があります。過去の地球環境や地域環境は、海や湖などの堆積物に連続的に記録されています。それを読み取ることによって、その地域や地球環境の変遷を知ることができます。特に海跡湖は堆積速度が速く精密な古環境解析では重要です。

エスチュアリー研究センターの環境変動解析部門では、現在の低地や沿岸環境が成立し始めた約1万年前から現在までを主な対象に、宍道湖・中海をはじめ、国内外の沿岸湖沼などにおいて堆積物や堆積物に含まれる微化石に記録されている環境変化の情報を解読し、環境の変遷や環境変化を引き起こした要因を解明することを目指しています。また現在の環境を研究対象とすることにより、現在の環境をより長期的な視点から評価することが可能になり、将来の環境予測や環境再生・修復に向けた取り組みに貢献することを考えています。



早稲田大学・岡山理科大学と共同で行われた岡山城御濠の堆積物調査

